

## ご縁を大切に、繋がりを拡げて



株式会社ホップス  
(盛岡市)  
代表取締役

工藤 昌代

私が創業したのは1996年11月。最初は一人で始めた会社です。現在5名のスタッフとアルバイトさんが数名所属しています。Web制作会社として企画からプログラミン

グ、デザイン、サーバー管理などトータルにサポートしている会社です。制作する業種も規模も様々で、ショッピングモールを構築するシステムなども提供しています。また、インターネットショッピングサイトのほか、盛岡駅ビル地下1階に「5858koyakoya」という雑貨店も運営しています。

### 会社設立前の経験が今につながる

実は私は、会社を設立する前に3つの会社勤務を経験しています。最初は東京で初めて勤めた情報処理業の会社。ここで、同期のメンバーがプログラム開発をしていた姿を見て、私も勉強してできるようになりたいと思った会社です。漠然とした思いで最初の就

職をしましたが、やりたい仕事を明確にしてくれた会社でした。

2つ目の会社はプログラムを教えてくれた会社です。当時コンピュータ業界は人を雇用すればするほど右肩上がりに売上げが上がっていく業界と言われていました。しかし、バブルが弾け、結果その会社は倒産します。その会社は大きなクライアント2社で成り立っていた会社でした。その2社が仕事を外注することをやめてしまったため、急激な売上げの落ち込みで会社を継続することができなくなりました。

3つ目の会社は、印刷会社やデザイナーにApple社のパソコンを販売する会社でした。そこではフリーで働くデザイナーさんやカメラマン、ライターさんなど、会社に所属せず自分の力で仕事をしていく人たちに出会うことができました。

そんな3つの会社を経験したのち30歳を機

に会社を設立しました。この3つの会社での経験が自分の会社を経営する上で大きく影響しています。

設立時、まず3つの柱となる事業を作ろうと思いましたが、一人なのに今思えば無茶なことをと思います。それでもひとつずつ構築して3つにしようと考えていました。それからクライアントは10社以上に分けようと考えていました。私ができる最大限のリスク分散です。最初の頃の事業はプログラム・DTP（印刷物のデザイン）・パソコン指導などでしたが、スタッフを雇用した後は、プログラム・DTP・Webページ制作と変化しました。現在の事業はプログラムとWebページ制作・サーバーメンテナンス・物販です。さらに物販は実店舗とインターネット販売の異なる販路を持っています。

会社を運営していると本当に山あり谷ありで厳しい局面もありますが、なんとか継続し

ているのはこの収益分散があるからだ実感しています。できればどの事業も安定した利益を生むようにしたいのですが、現実はどこかの事業がどれかの事業をフォローする形になります。今回のような人が動く営業活動や店舗の売り上げ確保が難しい時にも、インターネットでの販売で幾分フォローすることもできます。

### 妄想会議が事業のヒント

とはいいいながら、「リスク分散イコール石橋を叩いて渡る」というわけではありません。実はひとり妄想会議を実践しています。誰かに会った時、このご縁を大事にしていけるかどうか、どうしたらいいのだろうか、今はピンチだけドチャンスになるのではないかなどと考えを巡らすのです。それは事業計画を作って…、などというしっかりしたものではありません。例えば、現在実店舗で運営している「5858」という雑貨店。今は盛岡駅ビルの地下1階にありますが、以前は肴町のななつくに店舗を構えていました。画家で彫刻家の奈良美智さんの小さいお家の作品を見てから小屋が気になって仕方なかった私は、小屋を建てたいと思うようになりました。思っていることを人に話をする、面白がって一緒に考えてくれる人もいたりして、縁あってななつくに小屋を建てて雑貨屋さんを開くことができました。名前も5858と書いて「こやこや」と名付けました。

また、震災の時に岩手のために何かしたいというフィンランドの方に出会う機会がありました。その時は具体的な動きには至らなかったのですが、どうしてもフィンランドという国が気になって、なにか仕事をしたと思うようになりました。フィンランドに行つて様々な方と繋がり、それが人の数珠つなぎのようなご縁となつてiwatemo (イワテモ) というブランドを立ち上げることができました。この時も最初は「どうやって仕事に繋がられるのか」「せっかくできた縁を絶やすことなく繋げるにはどうしたらいいのか」ということを考え、賛同してくれる人たちに声をかけました。現在は岩手のものづくりの人たちとフィンランドを結び、主となる3人の女性



スウェーデン・ストックホルムで開催したiwatemoブランドの展示会の様子

とともに国内外に販路を繋げています。

### 今、誰かの役にたつということ

私は、様々な事業をしているので、知っている人からは色々なことやっているよね、とよく言われるのですが、私の心に1本柱があります。それは「社会への貢献」と「誰かの役にたつ」ということです。貢献というところがましい気もしますが、要は自分が持っている技術やネットワークでできることをやるということなのです。

私が経営している会社は山あり谷ありで潤沢な資金があるわけではありません。できたら多くのお金を地元で落とすことができれば良いのですが、そう簡単ではありません。それでも持っている技術で誰かの役にたつことはできるのではないかと考えています。そして人の縁を誰かに繋ぐこともまた出来ることなのかな、と思うのです。実際フィンランドで出会った方のご縁は私個人の知り合いにしておくにはもったいないと思う方でした。そこで、岩手県や工業技術センターにお声掛けし支援をいただきながら、地元のいろいろな方に繋がっていったのです。

本当に山あり谷あり、谷あり山ありですが、スタッフにとっても助けられています。感謝の心を忘れず、今後も私たちが持つ技術で誰かに喜んでもらえるように、誰かのお役にたつように、常に強く意識し地域と繋がっていきたいと考えています。